

「ムーンショット型農林水産研究開発事業」×「早稲田大学未来食産官学共創コンソーシアム」合同公開シンポジウム  
「食の安全保障に資する基礎研究、実用化研究、グローバル競争力を強化するためには」

食料の安定的な供給はわが国にとってきわめて重要な政策課題であり、昨今のコメの価格高騰や食品の一斉値上げの情勢を受け、食料・飼料に目を向けた「食の安全保障」をわれわれ一人ひとりが真剣かつ深刻に考えるきっかけとなりました。数年前と比較すると、他人事ではなく、自分事として、行政、企業、アカデミアがサステナブルな食料・飼料供給に対してどのような取り組みを先導するのか関心を持つ人が多くなっています。一方、わが国は、密度高く存在する便利で安全なコンビニエンスストア、和食を含め世界各国の食を安心して愉しめるレストラン、美味しくかつ手軽なファストフードを提供する外食店に恵まれるなど、各業界の弛まない努力によって充実した食環境が維持されています。さらに、今後、世界人口が増え続け食料不足に直面する世界的情勢に対して、わが国は、人口が減少しているため、食料不足、栄養素不足となる不安を感じている人は多くありません。

われわれは、不安感や危機感を煽るのではなく、食の多様性に繋がる自然の中に眠っている食材の探索や安全で安価な栄養価の高い飼料の開発、過度な栄養摂取を避けるための科学的根拠に基づいた食育とその基盤となる研究開発、世界の政治情勢や安全保障体制の急変や宇宙を含む新しい生活環境にも対応できるような美味しさと高い機能性をもつ新しい食の開発とそれに対する受容性の向上など、産官学が垣根を越えて協力して取り組むべき時代を迎えていると感じます。技術的安全のみならず、一人ひとりの心理的安全を担保した「食の安全保障」に資する取り組みを推進することが急務であり、適切な財政的支援と規制緩和、ならびにわが国の社会の理解が不可欠となります。次世代にわが国の食文化を継承しつつ、新しい食との融合などを図る取り組みを通じて、元氣なわが国を維持していかねばなりません。

そこで、「2050年までに、未利用の生物機能等のフル活用により、地球規模でムリ・ムダのない持続的な食料供給産業を創出」を目標に掲げた「内閣府ムーンショット型研究開発制度農林水産研究開発事業」(MS農林水産研究開発事業)と「次世代の食の安全・安心・信頼に基づいた社会受容性を高め、わが国の食の伝統や文化を踏まえた新しい食文化の創造」をビジョンに掲げた「早稲田大学サステナブルな未来食の普及に向けた産官学共創コンソーシアム」(未来食産官学共創コンソーシアム)が合同で公開シンポジウムを開催し、「食の安全保障」に資する食料・飼料に対する基礎研究、実用化研究、グローバル競争力の強化について議論します。

参加申込み  
QRコード



- 開催日時:2026年3月17日(火) 8:50-19:30
- 会場: 早稲田大学先端生命医科学センター (<https://www.waseda.jp/top/access/twins>)  
東京都新宿区若松町2-2 東京女子医科大学・早稲田大学 連携先端生命医科学研究教育施設(TWIns) 3階セミナールーム3  
\*大江戸線 若松河田駅から徒歩5分 牛込柳町駅から徒歩5分/新宿線 曙橋駅から徒歩8分
- 参加登録申込み: <https://forms.gle/zvnTmF37Ntx8j93u7>
- 参加登録締切り:2026年3月10日(火)
- プログラム

司会 中西 卓也 (早稲田大学 総合研究機構 研究院教授)

8:50-9:20 オープニングセッション

- ・開会挨拶 本間 敬之 (早稲田大学 常任理事)
- ・特別講演 「わが国の食料安全保障とムーンショットプロジェクトの今後をどう考えるか」  
千葉 一裕 (東京農工大学 学長/MS目標5PD)

司会 野崎 千尋 (早稲田大学 理工学術院 准教授)

9:25-11:25 「ムーンショット目標5プロジェクトの底力」

- ・竹山 春子 (早稲田大学 理工学術院 教授/MS 循環型協生農業プラットフォームコンソーシアム PM)
- ・由良 敬 (早稲田大学 理工学術院 教授・お茶の水女子大学 基幹研究院 教授/MS 昆虫利用型食料生産コンソーシアム PM)
- ・清水 達也 (東京女子医科大学 教授・副学長/MS サーキュラーセルカルチャーコンソーシアム PM/(一社)日本培養食料学会 代表理事)
- ・古川 英光 (山形大学 理工学研究科 教授・卓越研究教授/MS 食品低温凍結粉砕コンソーシアム PM/JAXA 宇宙戦略基金 SX-CRANE 革新的宇宙ガストロノミー技術開発拠点 研究代表者)

司会 片岡 孝介 (東京農工大学 准教授/早稲田大学 研究院准教授)

11:30-12:00 「サステナブルな未来食の普及に向けた産官学共創コンソーシアムの魅力」

- ・朝日 透 (早稲田大学 理工学術院 教授/早稲田大学 未来食産官学共創コンソーシアム 会長/MS 昆虫利用型食料生産コンソーシアム 副PM)
- ・岡崎 直美 ((株)島津製作所 執行役員/早稲田大学 未来食産官学共創コンソーシアム 副会長)

12:00-12:30 休憩

司会 宮地 元彦 (早稲田大学 スポーツ科学学術院 教授/  
AMED 革新的先端研究開発支援事業 元気につながる生命現象の解明と制御 研究開発領域 PO)

12:30-13:00 各界からのメッセージ

- 中山 泰秀 (衆議院議員)
- 有村 治子 (参議院議員/自由民主党総務会長) \*ビデオメッセージ
- 西條 正明 (文部科学省 科学技術・学術政策局長)
- 菊川 人吾 (経済産業省 イノベーション・環境局長/首席スタートアップ創出推進政策統括調整官)
- 堺田 輝也 (農林水産省 大臣官房技術統括審議官/技術会議事務局長)

13:00-13:50 パネルディスカッション 「食料の安全保障にどう貢献できるのか、すべきなのか、したいのか？」

➤ パネリスト

- ・下川 哲 (早稲田大学政治経済学術院 教授)
- ・菊地 唯夫 (ロイヤルホールディングス代表取締役会長/京都大学経営管理大学院客員教授/料飲稲門会会長)
- ・横山 洋樹 ((株) Square Roots Japan 代表取締役副社長)
- ・石井 佑基 (野村證券(株) フード&アグリビジネス・コンサルティング部 ヴァイスプレジデント)
- ・日比 絵里子 (国際連合食糧農業機関 駐日連絡事務所 代表)
- モデレーター
- ・朝日 透 (早稲田大学 理工学術院 教授/早稲田大学 未来食産官学共創コンソーシアム 会長/MS 昆虫利用型食料生産コンソーシアム 副PM)

司会 生田 和正(水産研究・教育機構 理事/MS 昆虫利用型食料生産コンソーシアム 副PM)

14時00分-14時50分 「新しい食の創出と社会受容」

➤ パネリスト

- ・鈴木 丈詞 (東京農工大学 大学院グローバルイノベーション研究院 教授)
- ・桐原 慎也 ((株)シグマックス 常務執行役員/培養肉未来創造コンソーシアム 副委員長)
- ・安藤 忠 (水産研究・教育機構 水産技術研究所 主幹研究員)
- ・吉富 愛望 アビガイル (細胞農業研究機構 代表理事)
- ・羽生 雄毅 (インテグリカルチャー(株) 代表取締役)
- ・齋藤 健生 (TAKEO(株) 代表取締役 CEO)
- モデレーター
- ・清水 達也 (東京女子医科大学 教授・副学長/MS サーキュラーセルカルチャーコンソーシアム PM(一社)/日本培養食料学会 代表理事)

15時00分-15時30分 特別講演 「食の安全保障に資する研究開発、事業創出、人材育成をどのように進めるのか」

末松 広行 (東京農業大学 総合研究所 客員教授/東京大学未来ビジョン研究センター 客員教授)

司会 中川 鉄馬 (早稲田大学 総合研究機構 研究院講師)

15時40分-16時30分 「民間宇宙旅行時代における食ビジネスはどうなるか？」

➤ パネリスト

- ・野中 朋美 (早稲田大学 理工学術院 教授/JAXA 宇宙戦略基金 SX-CRANE 一般民間人の健康・快適宇宙生活を実現する宇宙QOL 研究開発拠点 研究代表者/文部科学省 ECLSS 環境における人間の快適性を支える製品・サービスデザイン人材育成プログラム 研究代表者)
- ・坪山 宣代 (宇都宮大学 客員教授/JAXA 月面フードシステムワーキンググループ 委員/日本災害食学会 副会長/農林水産省 事業 災害食国際規格委員会 委員長)
- ・菊池 優太 ((一社)SPACE FOODSPHERE 理事・事業開発部長/(株)Space Food Lab. 取締役・CMO)
- ・矢野 亮太 (A.T. Kearny マネジャー)
- ・竹下 博 (有人宇宙システム(株) 取締役)
- モデレーター
- ・古川 英光 (山形大学 理工学研究科 教授・卓越研究教授/MS 食品低温凍結粉砕コンソーシアム PM/JAXA 宇宙戦略基金 SX-CRANE 革新的宇宙ガストロノミー技術開発拠点 研究代表者)

司会 小野寺 航 (早稲田大学 理工学術院 助教)

16時30分-19時20分 研究開発・事業創出に関するショートプレゼンテーション

- ・由良 MS プロ、清水 MS プロ、古川 MS プロ、竹山 MS プロ及び未来食産官学共創コンソの研究メンバー・学生からの発表

19時20分-19時30分 エンディングセッション

- ・次世代へのメッセージ 由良 敬 (早稲田大学 理工学術院 教授・お茶の水女子大学 基幹研究院 教授/MS 昆虫利用型食料生産コンソーシアム PM)
- ・閉会挨拶 朝日 透 (早稲田大学 理工学術院 教授、先進理工学部 部長・研究科長、未来食産官学共創コンソーシアム 会長/MS 昆虫利用型食料生産コンソーシアム 副PM)

19時45分-21時00分 交流会 会費:一般 4,000円/学生 3,000円

- 主催:早稲田大学 サステナブルな未来食の普及に向けた産官学共創コンソーシアム
- 共催:内閣府ムーンショット型研究開発制度農林水産研究開発事業 「サーキュラーセルカルチャー(CCC)コンソーシアム」/「昆虫利用型食料生産コンソーシアム」/「循環型協生農業プラットフォームコンソーシアム」/「食品低温凍結粉砕コンソーシアム」、早稲田大学理工学術院/ナノ・ライフ創新研究機構規範科学総合研究所/総合研究機構グローバル科学知融合研究所
- 協力:文部科学省 ECLSS 環境における人間の快適性を支える製品・サービスデザイン人材育成プログラム、料飲稲門会、Beyond 2020 NEXT PROJECT、日本培養食料学会、(一社)SPACE FOODSPHERE、細胞農業研究機構、(一社)産業競争力懇談会、AMED 革新的先端研究開発支援事業 元気につながる生命現象の解明と制御 研究開発領域(予定)
- 協賛:(株)島津製作所、(株)ニチレイ、TAKEO(株)、REDAS(株)